

事務事業 No./名 称	☒ サービス部門 都整-02 道(水)路調査事業 ☐ 支 援 部 門									
主管課	道水路管理課				関連課	管財課、作業センター、下水道河川課、建築指導課				
分野名	道路整備									
目標 (目標値)	安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界査定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図る。									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備 考					
	人 口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	66,035	79,444	69,944						
	(国・県)	10,186	7,532	(狭)5,121 (緊)2,919						
	(負担金等)									
	(一般財源)	55,849	71,912	61,904						
	人員配置数	8.4人	7.4人	8.4人						
	人 件 費(千円)	67,940	60,800	73,222						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	133,975	140,244	143,166						
	市民1人当りの経費(円)	753	791	808						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
申請数 決定数(前年度申請含む)	○	目標値	131	130	125	101				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	64	117	86	33				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
道(水)路調査事業	66,035	道(水)路調査事業	71,039	今後の方向性	C	理由・手法	境界確定、狭あい道路拡幅整備の申請があるため、継続する。申請者負担方式を検討する。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	確定図訂正、地図訂正の増加と累積している過去からの不調案件の処理により、立会から査定決定までに時間を要している。												
課題解決のための取組	申請者が自ら作業を行い費用負担する「申請者負担方式」の実施により、限られた人員で時間の短縮と決定件数の増加を図る。							取組の結果	☐ 解決 ☒ 未解決				
未解決の課題	過去からの案件の処理については可能なものから行っているが、新たな不調案件が生じ未確定の案件が累積している。												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	△	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	事務の改善を継続し、より効率的な事務処理を確立する。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			➡	C	
								※□事業完了					
評価者名				道水路管理課担当課長				小柳出 延之					

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
道(水)路調査事業	査定申請に基づき現地調査を実施。測量委託者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、査定図を作成。市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		271	事務補助嘱託員報酬 2人	1,203	1,114	○	○	○	○
		271	土地境界査定図交付事務等臨時的任用職員賃金	1,130	1,071	○	○	○	○
		271	費用弁償	201	104	○	○	○	○
		271	消耗品費	51	50	○	○	○	○
		271	境界査定立会等業務委託料	52,372	33,080	△	○	○	△
		271	狭あい道路拡幅整備事業境界査定立会等業務委託料		14,715	△	○	○	○
		271	鎌倉市道053-101号線他変位観測測量業務委託料		505	○	○	○	○
271	公共嘱託登記業務委託料	403	○		○	○	○		
※□	271	境界査定用境界杭等原材料費	500	499	○	○	○	○	
事業完了	271	狭あい道路拡幅用地等購入費	15,000	14,494	○	○	○	○	

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□									
事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□									
事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□									
事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□									
事業完了									